

第6回 「岐阜市の学校教育」 公表会

テーマ： 信頼と情熱を基盤にした『自信と誇りに結ぶ教育』

1. 目的

- (1) 「岐阜市の学校教育」についての施策等を市民に広く知らせるとともに、学校・家庭・地域が連携し合って子どもを育てることの共通理解の場とする。【午前】
- (2) 岐阜市内の教職員を対象に「岐阜市の学校教育」の方針等を周知徹底するとともに新学習指導要領実施（移行措置）に向け、実践から学び合う研修の場とする。【午後】
- (3) 「岐阜市の学校教育」を広く全国（教育関係者）に向けてPRする場とする。【終日】

2. 日時： 平成21年 1月10日（土） 9:40～16:30

3. 場所： 「じゅうろくプラザ」 岐阜市橋本町1丁目10番地11

4. 日程等

9:00	9:40	10:00	11:00	11:10	12:00	13:30	16:30
受付	開会	<第1部> 基調講演	休憩	<第2部> 市教委 発表	昼食	【午後の部】 教職員研修（3分科会） 「教育課程」「小中一貫教育」「生徒指導等」	

【午前の部】 会場： ホール（600席の多目的ホール）

対象： 学校関係者（教職員・保護者） 岐阜市民（地域代表・参加希望者）
市外・県外の教育関係者

「小中一貫教育」を重点にした“岐阜市の学校教育”について発信するとともに、学校・家庭・地域の役割について考え合う場とする。

<開会宣言（教育長）・市長挨拶> 9:40～10:00

<第1部> 10:00～11:00

◆ 基調講演「小中一貫教育にかかわる学校・家庭・地域の役割」

講師： 玉川大学教職大学院 小松郁夫教授（前 国立教育政策研究所部長）

学習指導要領改訂の趣旨など国の教育政策ともかかわらせながら、小中一貫教育の意義や、学校・家庭・地域が「すべきこと・できること」について話していただく。

<第2部> 11:10～12:00

◆ 平成20年度「岐阜市の学校教育」 各事業実践の内容と成果を紹介します！

学力向上ふプラン（国語プロジェクト、算数・数学プロジェクト、学習支援ソフト導入・活用）
小中一貫教育の推進（中学校区の実情に応じた実践、地域ぐるみの道德教育、小中一貫英語教育）
特別支援児童生徒への指導、不登校児童生徒への学習・生活支援、生徒指導の充実
キャリア教育、ICTを活用した教育、教職員の研修、岐阜小コミュニティスクール etc.

【午前部】 基調講演の講師紹介

玉川大学教職大学院 小松 郁夫 教授 プロフィール

経 歴

- 1947年 秋田県平鹿郡十文字町（現・横手市）生まれ
- 1979年 東京教育大学大学院博士課程満期退学
- 1979年 東京電機大学理工学部専任講師
- 1981年 東京電機大学理工学部助教授
- 1993年 国立教育研究所教育経営研究部学校経営研究室長
- 2000年 国立教育研究所教育経営研究部長
- 2001年 国立教育政策研究所高等教育研究部長
- 2004年～ 国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長
- (2005年 国立教育政策研究所初等中等教育研究部長 併任)
- 2008年 玉川大学教職大学院教授（現在に至る）

この間、1986年と1998年の二度にわたって英国バーミンガム大学教育学部客員研究員となったり、東京大学教育学部、早稲田大学教育学部、青山学院大学大学院、九州大学などの非常勤講師を務めたりしている。

研究活動概要

学校現場に入り込んでの「学校経営」に関する実証的・実践的研究と、イギリスを主対象とした「ポスト福祉国家」における教育の在り方についての研究を柱にされ、初等教育から高等教育、公教育から私教育、日本から欧米（特にイギリス中心）など、幅広い研究を行っている。また、現在携わってみえる数多くの研究プロジェクトの中には次のようなものも含まれている。

「新しいタイプの学校に関する調査研究」

「教育行財政におけるニュー・パブリック・マネジメントの理論と実践に関する比較研究」

「少子化と地域差を考慮した基礎学力保障のための幼保小中高一貫教育に関する総合的研究」

「学校間接続の在り方に関する研究」（小中一貫・連携教育）

主要著書

「学校評価のめざすもの—義務教育の質を保証するために」ほか、

『こうして使おう“学校評価ガイドライン” —ガイドラインによるやさしい実践方法』

『学校経営の刷新』（教育開発研究所）

『教育評価事典（第10章「カリキュラム評価・学校評価」の項目を担当）』（図書文化）

『教育学用語辞典 第四版』（学文社）

『今、学校が変わる！「総合的な学習の時間」を創る実践ガイド』（開隆堂）

その他、研究成果として、

「学校と地域社会（社会教育団体と産業界）の連携」「学校と地域社会との連携に関する国際比較研究」

等の報告書もまとめている。

【午後の部】 対象：岐阜市内の教職員、市外・県外の教育関係者
平成20年度「岐阜市の学校教育」についての研修を兼ねた実践発表・交流の場とする。

○ 第1分科会「教育課程」分科会：ホール（600席の多目的ホール）

新学習指導要領実施に向けて教科等の授業力向上を目指す場

9:40	12:00	13:30	14:40	14:55	16:10	16:30	
【午前の部】 市民への公表会 「基調講演」「市の施策」	昼食	講話	休憩	学力向上ぎふプランの実践発表		総評	閉会
				算数数学	国語		

「算数・数学の実践」（学力向上ぎふプラン：算数・数学プロジェクト委員会）

「国語の実践」（学力向上ぎふプラン：国語プロジェクト委員会）

* 講話・総評：文部科学省（国立教育政策研究所） 富山 哲也 調査官

○ 第2分科会「小中一貫教育」分科会：5F中会議室1（90席）

小中一貫教育の推進に向けて充実した実践の在り方を考える場

9:40	12:00	13:30	14:20	15:10	15:20	16:30	
【午前の部】 市民への公表会 「基調講演」「市の施策」	昼食	実践発表&交流			休憩	総評・講話	閉会
		全体像	英語教育	地域の実情に 応じた実践			

「小中一貫教育の実践」（島中学校区：島小、木田小、城西小、則武小、島中学校）

「英語教育の実践」（厚見中学校区：厚見小学校、厚見中学校）

* 講話・総評：福井市教育委員会学校教育課 道上 賢一 指導主事

○ 第3分科会「生徒指導・教育相談・特別支援教育」分科会：5F中会議室2（90席）

よりよい支援に向けて生徒指導・教育相談・特別支援教育を考える場

9:40	12:00	13:30	14:15	15:10	15:20	16:30		
【午前の部】 市民への公表会 「基調講演」「市の施策」	昼食	実践発表&交流				休憩	総評・講話	閉会
		全体像	教育相談	特別支援	生徒指導体制			

「岐阜市の教育相談体制」（ほほえみ相談員の実践等）

「特別支援教育の実践」（長森東小学校通級指導教室）

「小学校生徒指導体制強化事業（ひょうたん島の会）」（島小・城西小）

* 講話・総評：岐阜大学教育学部教職大学院 有村 久春 教授

〔その他〕

- ・当日は「じゅうろくプラザ」内（展示ギャラリー）において、児童生徒の作品、教職員の開発した教材・教具、各種事業の紹介パネル等を展示することも考えています。

【午後の部】 各分科会の講師紹介

○ 第1分科会「教育課程」分科会

文部科学省（国立教育政策研究所） 富山 哲也 教科調査官 プロフィール

所属・職名：教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官・学力調査官

担当分野： 国語科教育

略 歴： 昭和59年 東京学芸大学教育学部卒業

東京都公立中学校教諭 東京都あきる野市教育委員会指導主事

東京都多摩教育事務所指導主事 東京都教育庁指導部指導主事

平成16年より現職

主な著書： 明治書院「中学校・高等学校 PISA 型『読解力』～考え方と実践～」

○ 第2分科会「小中一貫教育」分科会

福井市教育委員会事務局 学校教育課 道上 賢一 指導主事

福井市では、平成17～19年度の3年間、市の学校教育目標を達成するため「中学校区教育」を展開してこられました。平成17年度“推進”、18年度“充実”、19年度“強化”をキーワードにして、様々な取組を実践されています。

今年度は、3年間の実践をもとに ① 授業の改革 ② 協働する組織 ③ 夢を語れる子どもたちの3つの視点をもち、「中学校区教育」の『発展プラン』を掲げて推進してみえます。

※ 全国学力・学習状況調査においても、大きな成果を上げている福井市の実践から学ぶ機会として、福井市教育委員会で主担当としてご活躍いただいている指導主事の先生をお招きします。

○ 第3分科会「子ども支援」分科会

岐阜大学教育学部教職大学院 有村 久春 教授 プロフィール

専 門： 教育臨床実践コース（特別活動・生徒指導・教育相談）

略 歴： 昭和45年 都留文科大学文学部卒業

東京都公立小学校教員 東京都教育委員会指導主事

青梅市教育委員会指導室長 東京都公立小学校長

昭和女子大学教授（併：早大・国立音大非常勤講師、府中市教育委員、

文科省いじめ問題調査研究委員、学習指導要領作成委員等）等を歴任

平成20年より現職

主な著書： 金子書房「キーワードで学ぶ特別活動 生徒指導・教育相談」「学級教育相談入門」

教育開発研究所「悩める教師へのアドバイス」「命を大切にする教育をどう進めるか」 他